

# 株式会社エフエム茶笛

## 平成 28 年度第 8 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成 29 年 3 月 24 日（金）17 時 00 分～18 時 00 分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：6 名

出席委員数：6 名

出席委員：大山博（番組審議会 委員長）

水村雅啓（番組審議会 副委員長）

佐藤智 飯島静江 黒川進 若月真理子

放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄

専務取締役 東 たか子

放送局次長 宮岡 洋明

技術・制作係長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って委員より放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

## 6. 審議内容

委員長：

それでは、今回は通常の番組編成に関して、各委員の皆さんからご意見をいただきます。

委員：

「ハグパーク」では、“子育て相談室”というコーナーで専門家の方々が、ロングインタビューや個々の質問に対して答えています。子育て中のご家族には役立っていると思います。ある日の放送で、パーソナリティ自身が、幼い子供にまつわるとても痛ましい事件を伝えていまして、私の心に強く響きまして涙がこぼれてしまうようなお話でした。悲しい事件が多い中、私たちへの警鐘でもあり社会の問題でもあるとあらためて気づかされる放送でした。大手マスメディアでも伝えていますが、FMチャッピーが伝えるとメッセージ性が増すと思います。パーソナリティが個人的な心情を伝えることはリスクを伴うものでもありますが、時には必要であると感じました。

委員：

「子ども放送局」に参加した入間市の子供たちが出演するコマーシャルが良かったです。それを聴きながら、中学生やシニアなど多世代に渡る（出演者の）どこでも聴くようなものではない独特なFMチャッピーならではのCMも楽しいのではと思いました。

委員長：

涙がこぼれそうになったという番組について教えてください。

委員：

午後の番組（「くらっしい〜♪」）の中に「ハグパーク」というコーナーがあるんですが、その中に“子育て相談室”という放送があります。近頃、子供への虐待や殺してしまったりという事件がありますが、パーソナリティがそうした事件に対する自身の心情を伝えていました。それらは、若いお母さんだけの問題ではなくて、子育てが終わった我々の世代も深く心に留めて一緒に考えていかなくてはならないと私は感じました。パーソナリティの藤井さんご自身の子育ての経験からのメッセージだと思います。自身の心情で訴えることは時にリスナーに反感を持たれたりすることもあり得ますが、私には聴いていて心に打たれましたし、時にはそうしたことも良いと思いました。

委員：

夏以降、子供たちが制作した入間の魅力を発信するCMが放送されています。小学生のキャッチコピーはどれも新鮮な切り口です。聴くたびに笑顔になります。自分の学校や郷土に愛着をもってFM放送に親しみを感じてくれるよう工夫しながら、例えばコンテスト方式を採用するなど広がって行ってほしい企画です。

委員：

開局 20 年を迎えられ、おめでとうございます。更なる魅力ある番組編成を期待しています。今は 24 時間放送ですが、20 年前の開局当初はどんな番組がどんな時間に放送されていたのか

等、20年の歩みが分かる番組を聴いてみたいと思います。放送への親しみが増すと思います。

委員長：

これで、審議を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
特になし。		

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

・3月30日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。

9. その他の参考事項

特になし。

以上

社名	株式会社エフエム茶笛
----	------------